

令和3年度 足利中央特別支援学校 学校評価シート

教育目標、目指す児童生徒像、教師像、学校像

教育目標	児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な教育を行うことにより、その能力や可能性を最大限に伸ばし、地域社会の中で主体的に生きる力を育成する。
目指す児童生徒像	○目標に向かって意欲的、主体的に取り組める児童生徒 ○自分の良さ、相手の良さに気づき、認められる児童生徒
目指す教師像	1 常に「児童生徒のために」という意識をもてる教師 2 「授業をつくる力」の向上に努力し続ける教師 3 相手の心情に寄り添った対応を大切にできる教師 4 児童生徒・保護者・地域社会から信頼される教師
目指す学校像	1 安心・安全な学校 2 児童生徒が意欲的に学べる学校 3 地域社会に開かれた学校 4 教職員がやりがいを感じられる学校

令和3年度努力点

評価基準

A:達成できた(80%以上) B:概ね達成できた(50~80%) C:あまり達成できていない(20~50%) D:達成できていない(20%以下)

重点目標	推進担当	達成目標（評価項目）	評価の観点	評価	改善策
1 安全指導及び防災体制の充実を図るとともに、健康・安全教育、防災教育教育、安全・健康教育、防災教育を推進する。 ○教職員一人一人の安全に対する意識・感性を高め、日常生活指導及び各種訓練や安全学習・安全指導の充実を図るとともに、児童生徒が自らの安全・健康を守るために必要な判断や行動ができるようにする。	健康指導部 児童生徒指導部 学校安全対策委員会	・安全・防災指導の充実を図るため、教職員の学校安全、健康安全、防災安全に対する意識を高め、学校管理下における児童生徒の事故を未然に防止する。	・小グループによるケーススタディ等を活用し、児童生徒の障害の状況に対応した安全対策を講じることができたか。 ・安全対策が効果的に機能し、児童生徒の事故・怪我の発生件数の減少につながったか。		
2 児童生徒の自立・社会参加に向けたキャリア教育の充実を図る。 ○各学部段階及び児童生徒の実態に応じた「人と関わる力」の向上を目指した指導の重点及び指導方法の定着を図る。	キャリア教育推進委員会 進路指導部 学習指導部 各学部	・「挨拶」や「場に応じた言動」に関する指導場面を積極的に設け、人間関係形成能力の更なる向上を図る。	・挨拶運動週間等の実践により、多くの児童生徒に、学校生活の様々な場面で積極的に挨拶を行う等の変容が見られたか。 ・「人と関わる力」の向上を目指した本校の取組について、懇談や各種便り等を活用し、保護者にわかりやすく伝えることができたか。		
3 地域と連携した学校作りを推進する。 ○開かれた教育課程の実現に向けて、学校からの情報発信の定着と、地域の教育資源を活かした取組の充実を図り、障害のある児童生徒に対する地域の人々の理解を深められるようにする。	教務部 特別活動部 地域支援部 各学部 渉外部 地域連携係	・学校ホームページのコンセプト設計(何を、誰に、どう伝えたいのか)を明確にすると共に、閲覧者が目的を達成しやすい情報設計(ページやコンテンツの整理、配置)を行う。 ・地域の教育資源を活かした地域連携授業の実践等により、地域と学校の連携強化を図る。	・掲載記事の内容を学校の教育活動全般に拡大すると共に、画像等を効果的に取り入れ、閲覧者が直感的に理解しやすい学校ホームページを構築できたか。 ・地域連携に関する取組状況を、学校ホームページや便り、校内掲示等で積極的に発信することができたか。 ・事後アンケートにより明らかになった成果や課題を地域・学校間で共有し、次年度に向けた改善策を検討できたか。		
4 教職員一人一人の専門性及び授業力の向上に向けた取組を推進する。 ○「主体的・対話的で深い学び」の在り方を意識し、「児童生徒が自ら学ぼうとする授業」をつくり出す力の向上に継続して取り組む。	教務部 学習指導部 各学部	・学校全体で取り組む授業研究をとおして「主体的な学び」を引き出す視点を身に付ける。 ・自立活動シートの作成や個別の指導計画の活用をとおして「児童生徒が自ら学ぼうとする授業」を作り出す力の向上を図る。	・「主体的な学び」に関する校内研修を実施し、グループ内での授業立案につなげることができたか。 ・主体的な活動場面を設定した一人1回の公開授業または研究授業を行い、指導の効果を考察することができたか。 ・自立活動シートの活用方法に関する理解を深め、適切な実態把握や目標設定に基づいて、学習内容の工夫や教材作りを行うことができたか。		